

適応外使用医薬品等の情報公開(オプトアウト)について

適応外使用とは、国が定める規定(添付文書)とは異なる方法で使用する事です。

治療の必要上、国の承認内容とは一致しない方法で使用する際は、当院の倫理審査委員会にて使用の必要性があるか、有効性・安全性等の面から問題ないかを審議し、承認した上で使用することとしています。

上記により承認の上、適応外使用を行う場合、通常は医療者が文書又は口頭で説明し、患者様の同意を得ることとしています。

しかし、科学的に相当の根拠があり、倫理的な問題が極めて少なく、患者様に有益であると考えられる使用の際は、文書又は口頭による説明・同意取得を例外的に簡略化する事を病院として承認し、当院のホームページ上でその内容について情報公開(オプトアウト)をしています。

即ち対象となる方から同意を頂くことに代えて、当院ホームページ上で情報公開(オプトアウト)をすることにより投薬を実施しています。

本内容に関して拒否される場合は、下記のお問い合わせあるいは担当医までお知らせください。なお、同意されない場合であっても、患者様の日常診療における不利益はございません。

【連絡先】 JCHO 湯河原病院
各診療科・薬剤部
0465-63-2211(代表)

令和7年6月24日

JCHO湯河原病院で承認された適応外使用の医薬品一覧

医薬品名	適応外使用の状況	使用範囲
高濃度塩化カリウム注射剤 (KCL注10mEqキット10mL)	目的 低カリウム血症に対する治療は、重症の場合や内服困難な場合は注射剤を使用する。注射用カリウム製剤は、添付文書において40mEq/L以下に希釈し20mEq/hr以下の速度で最大投与量は100mEq以下/日で使用することとされている。患者さんの病状により輸液量を絞る必要がある場合や補正を急ぐ場合に高濃度で使用する場合があります。使用の際は心電図モニターを装着し、血清カリウム値を確認しながら、慎重に投与を行う。 予想される不利益と対策 カリウム補充により、血清カリウム値が予想を超えてYoussoufし、高カリウム血症となる場合があります。その際、重篤な不整脈や心不全を来す恐れがある。また高濃度で投与した場合、欠陥痛や静脈炎の恐れがある。その場合は速やかに投与を中止または減量を検討する。低カリウム血症が改善され次第、高濃度注射用カリウム製剤の使用は終了し、添付文書で定められた使用方法へ移行する。	院内全体
クエチアピン	せん妄治療・予防に用いる	院内全体
ハロペリドール (セレネース注5mg)	せん妄に対する使用	院内全体
ヒドロキシジン塩酸塩 (アタラックスP注25mg)	不眠に対する使用	院内全体
リスペリドン	せん妄に対する使用	院内全体
ルーラン錠4mg	せん妄治療・予防、不眠時に用いる	院内全体
トラゾドン	せん妄に対する使用	院内全体
ガバペンチン (ガバペン)	神経障害性疼痛	院内全体
デュロキセチン	神経障害性疼痛	院内全体
クロナゼパム (リボトリール)	レストレッグス症候群	院内全体
バンコマイシン点滴静注	主に人工関節置換術後MRSA感染などの難治例に対して、バンコマイシンを混合した骨セメントを人工関節抜去部分に充填する事がある。	院内全体
スルファメトキサゾール・ トリメトプリム (バクタ配合散)	免疫抑制剤者の感染予防	院内全体
アドレナリン (ボスミン等)	止血目的等	院内全体
イントラリポス	局所麻酔中毒に使用	院内全体
ホリゾン注	てんかん重積発作時の第一段階に使用(ジアゼパム注2mL+生食8mL=10mLを側管)から5mL投与。効果なければ5mL追加する	院内全体
デキサメタゾン (デキサート注等)	末梢神経ブロック時局所麻酔添加として用いる	院内全体
ミタゾラム注	内視鏡開始時の鎮静に使用	院内全体